

質問5. 「加美町総合計画」（計画期間：平成17年度～平成26年度）の6つの政策体系について

「Ⅰ. 自然と共生する地球にやさしいまち」について

※ 「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

- (3) 医療・介護サービス、各種保健福祉サービスの取組についての満足度
- (4) 町が行ってきた事業について（効果あり・効果なし）
- (5) 保健医療福祉の分野で力を入れるべきと思う事業

「Ⅲ. 安全で快適に暮らせるまち」について

「Ⅳ. 魅力・やりがい・にぎわいのあるまち」について

「Ⅴ. だれもが楽しく学べるまち」について

「Ⅵ. 住民と行政の協働による自立するまち」について

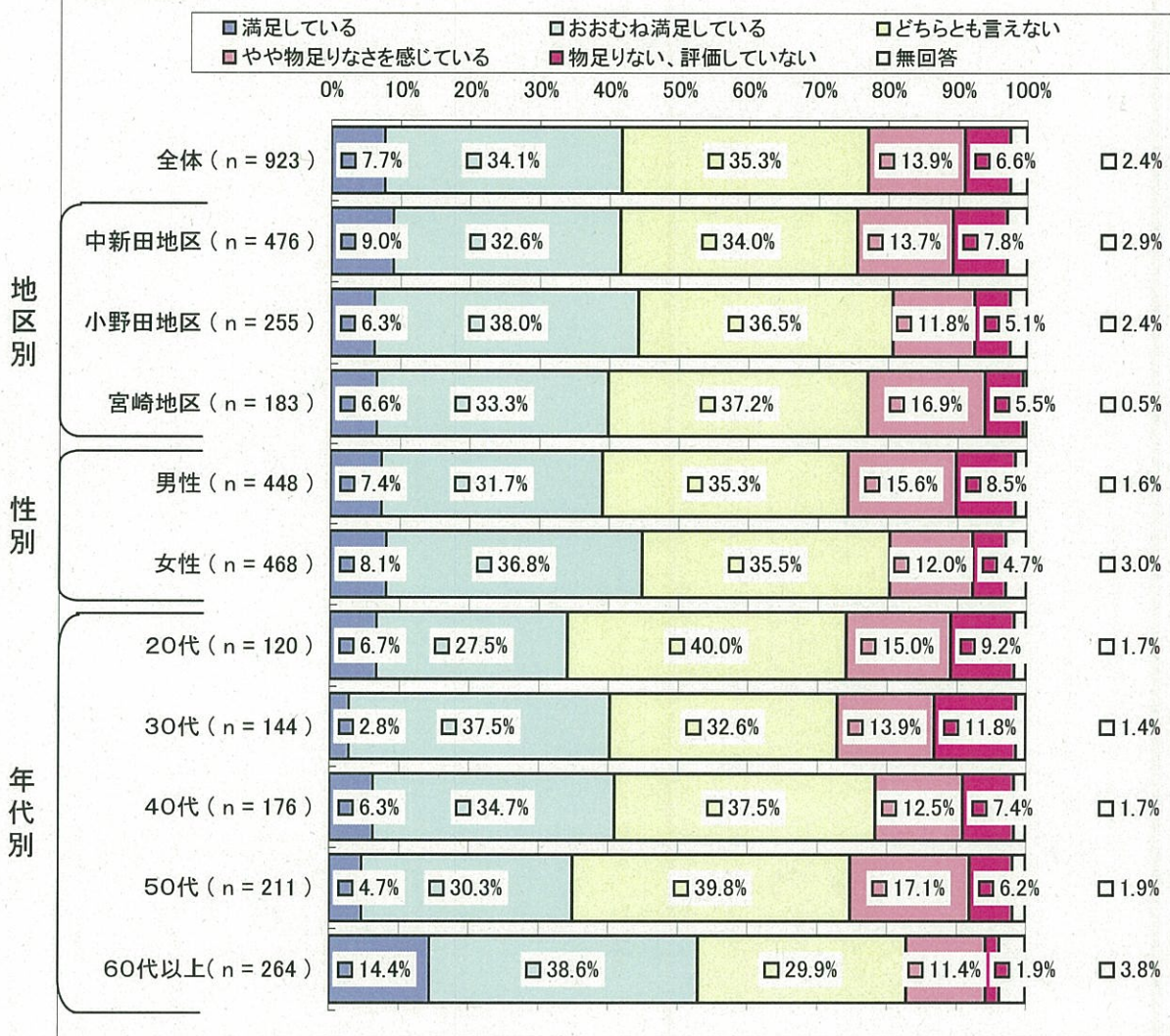
「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

(3) 町では、これまでに健康づくり・少子高齢化社会に沿った医療・介護サービス体制と、子育て支援体制の推進等の各種保健医療福祉サービスの充実を図ってきました。これらの取組について、あなたはどのように感じていますか？

全体 (n = 923)

	満足している	おおむね満足している	どちらとも言えない	やや物足りなさを感じている	物足りない、評価していない	無回答	計
回答数(人)	71	315	326	128	61	22	923
割合	7.7%	34.1%	35.3%	13.9%	6.6%	2.4%	100.0%

図表 質問5. (3)



【全体集計】では、「どちらともいえない」と回答した人が35.3%と最も多く、最も少ないのは「物足りない、評価していない」の6.6%でした。「満足している」「おおむね満足している」と回答した人は合わせて41.8%で、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人を合わせた20.5%より21.3%上回りました。

【地区別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人は、中新田地区41.6%、小野田地区44.3%、宮崎地区39.9%で、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人は、中新田地区21.5%、小野田地区16.9%、宮崎地区22.4%でした。

【性別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した男性は39.1%、女性は44.9%、「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した男性は24.1%、女性は16.7%でした。

【年代別集計】では、「満足している」「おおむね満足している」と回答した人が最も多い年代は60代以上の53.0%、次いで40代の41.0%、30代の40.3%、50代の35.0%、20代の34.2%でした。「やや物足りなさを感じている」「物足りない、評価していない」と回答した人が最も多い年代は30代の25.7%、次いで、20代の24.2%、50代の23.3%、40代の19.9%、60代以上の13.3%でした。

「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

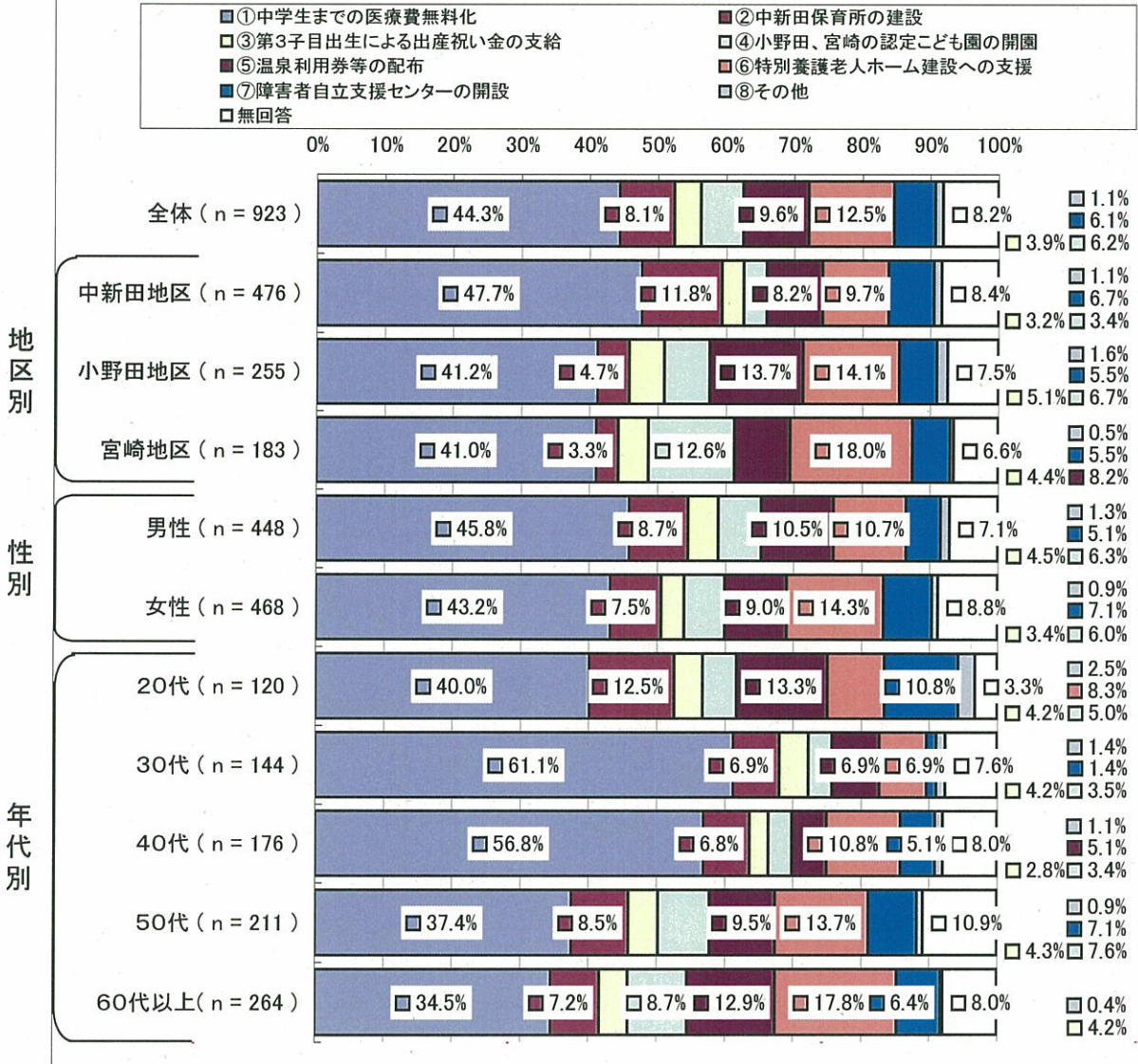
(4) 町が行ってきた以下の事業について、効果のあったと思う事業、効果のなかったと思う事業をそれぞれ一つずつ選んでください。(効果あり・効果なし)

『効果あり』

全体 (n = 923)

	①中学生までの医療費無料化	②中新田保育所の建設	③第3子目出生による出産祝い金の支給	④小野田、宮崎の認定こども園の開園	⑤温泉利用券等の配布	⑥特別養護老人ホーム建設への支援	⑦障害者自立支援センターの開設	⑧その他	無回答	計
回答数(人)	409	75	36	57	89	115	56	10	76	923
割合	44.3%	8.1%	3.9%	6.2%	9.6%	12.5%	6.1%	1.1%	8.2%	100.0%

図表 質問5. (4)「効果あり」



【全体集計】では、「①中学生までの医療費無料化」が44.3%で最も多く、次いで「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」の12.5%、「⑤温泉利用券等の配布」の9.6%でした。

【地区別集計】では、3地区とも「①中学生までの医療費無料化」が最も多く、中新田地区は47.7%、小野田地区は41.2%、宮崎地区は41.0%でした。次いで多いのは、中新田地区では「②中新田保育所の建設」(11.8%)、「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」(9.7%)、小野田地区では「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」(14.1%)、「⑤温泉利用券等の配布」(13.7%)、宮崎地区では「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」(18.0%)「④小野田、宮崎の認定こども園の開園」(12.6%)でした。

【性別集計】では、「①中学生までの医療費無料化」が最も多く、男性が45.8%、女性が43.2%、次いで「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」(男性10.7%、女性14.3%)、「⑤温泉利用券等の配布」(男性10.5%、女性9.0%)で、1～3番目の順位は全体集計と同じでした。

【年代別集計】では、20代は「①中学生までの医療費無料化」(40.0%)が最も多く、次いで「⑤温泉利用券等の配布」(13.3%)、「②中新田保育所の建設」(12.5%)、30代は「①中学生までの医療費無料化」(61.1%)が最も多く、次いで「②中新田保育所の建設」と「⑤温泉利用券等の配布」と「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」が同率(6.9%)、40代は「①中学生までの医療費無料化」(56.8%)が最も多く、次いで「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」(10.8%)、「②中新田保育所の建設」(6.8%)、50代は「①中学生までの医療費無料化」(37.4%)が最も多く、次いで「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」(13.7%)、「⑤温泉利用券等の配布」(9.5%)、60代以上は「①中学生までの医療費無料化」(34.5%)が最も多く、次いで「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」(17.8%)、「⑤温泉利用券等の配布」(12.9%)の順でした。

全ての年代で「①中学生までの医療費無料化」が最も多い回答でした。また、他の年代に比べ60代以上では「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」が比較的多い回答でした。

「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

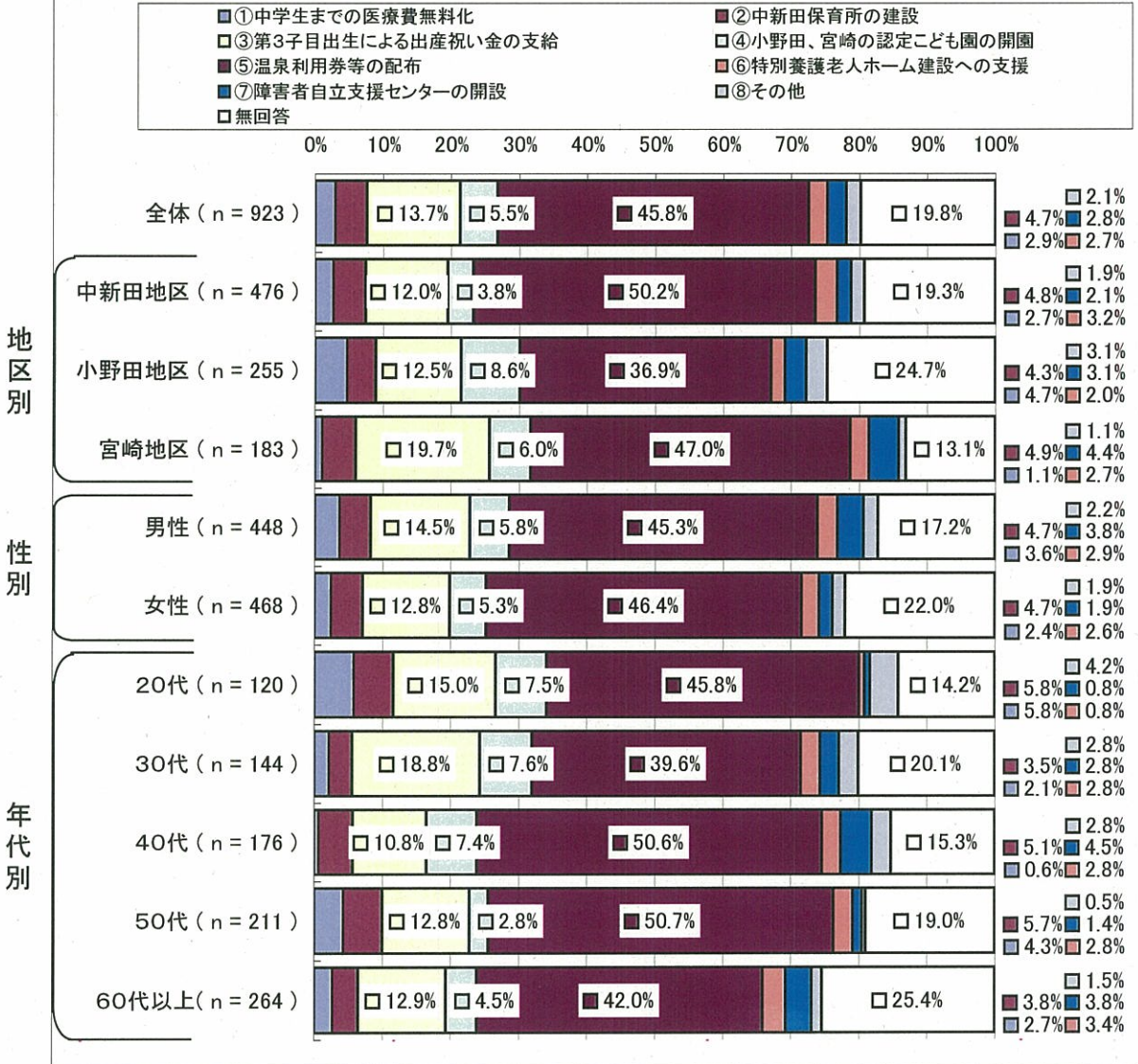
(4) 町が行ってきた以下の事業について、効果のあったと思う事業、効果のなかったと思う事業をそれぞれ一つずつ選んでください。(効果あり・効果なし)

『効果なし』

全体 (n = 923)

	①中学生までの医療費無料化	②中新田保育所の建設	③第3子目出生による出産祝い金の支給	④小野田、宮崎の認定こども園の開園	⑤温泉利用券等の配布	⑥特別養護老人ホーム建設への支援	⑦障害者自立支援センターの開設	⑧その他	無回答	計
回答数(人)	27	43	126	51	423	25	26	19	183	923
割合	2.9%	4.7%	13.7%	5.5%	45.8%	2.7%	2.8%	2.1%	19.8%	100.0%

図表 質問5. (4)「効果なし」



【全体集計】では、「⑤温泉利用券等の配布」が45.8%で最も多く、次いで「③第3子目出生による出産祝い金の支給」の13.7%、「④小野田、宮崎の認定こども園の開設」の5.5%でした。

【地区別集計】では、3地区とも「⑤温泉利用券等の配布」が最も多く、中新田地区は50.2%、小野田地区は36.9%、宮崎地区は47.0%でした。次いで多いのは「③第3子目出生による出産祝い金の支給」（中新田地区12.0%、小野田地区12.5%、宮崎地区19.7%）、「④小野田、宮崎の認定こども園の開設」（中新田地区3.8%、小野田地区8.6%、宮崎地区6.0%）でした。

【性別集計】では、「⑤温泉利用券等の配布」が最も多く、男性が45.3%、女性が46.4%、次いで「③第3子目出生による出産祝い金の支給」（男性14.5%、女性12.8%）、「④小野田、宮崎の認定こども園の開設」（男性5.8%、女性5.3%）でした。

【年代別集計】でも、「⑤温泉利用券等の配布」（20代45.8%、30代39.6%、40代50.6%、50代50.7%、60代以上42.0%）が最も多く、次いで「③第3子目出生による出産祝い金の支給」（20代15.0%、30代18.8%、40代10.8%、50代12.8%、60代以上12.9%）、「④小野田、宮崎の認定こども園の開設」（20代7.5%、30代7.6%、40代7.4%、50代2.8%、60代以上4.5%）でした。

「II. 健やかで元気あふれるまち」について

(4) 町が行ってきた以下の事業について、効果のあったと思う事業、効果のなかったと思う事業をそれぞれ一つずつ選んでください。(効果あり・効果なし)

全体 (n = 923)

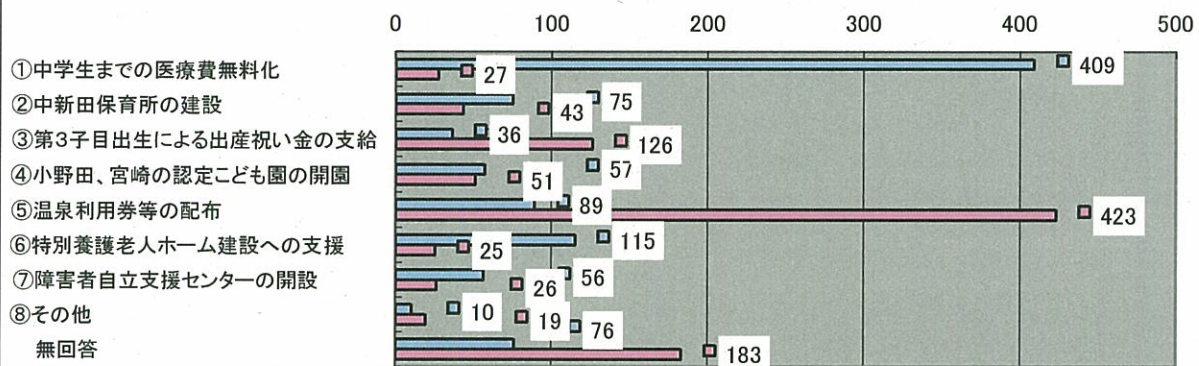
(回答数 単位:人)

		①中学生までの医療費無料化	②中新田保育所の建設	③第3子目出生による出産祝い金の支給	④小野田、宮崎の認定こども園の開園	⑤温泉利用券等の配布	⑥特別養護老人ホーム建設への支援	⑦障害者自立支援センターの開設	⑧その他	無回答	計
効果あり	回答数	409	75	36	57	89	115	56	10	76	923
	割合	44.3%	8.1%	3.9%	6.2%	9.6%	12.5%	6.1%	1.1%	8.2%	100.0%
効果なし	回答数	27	43	126	51	423	25	26	19	183	923
	割合	2.9%	4.7%	13.7%	5.5%	45.8%	2.7%	2.8%	2.1%	19.8%	100.0%
差引き	回答数	382	32	-90	6	-334	90	30	-9	-107	0

図表 質問5.(4) 全体 (n = 923)

□効果あり □効果なし

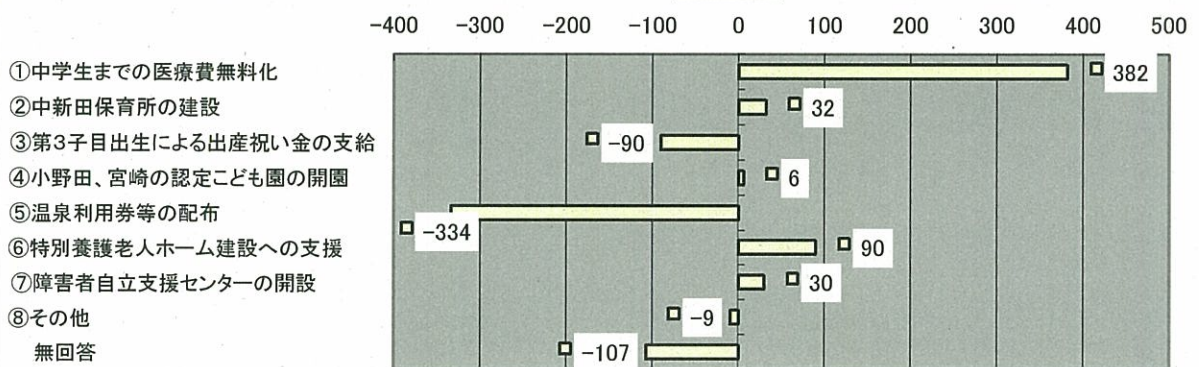
(回答数 単位:人)



図表 質問5.(4) 全体 (n = 923)

□差引き

(回答数 単位:人)



『効果あり』と思う事業の回答数から『効果なし』と思う事業の回答数を差引きすると、「①中学生までの医療費無料化」（382件）、「⑥特別養護老人ホーム建設への支援」（90件）、「⑦障害者自立支援センターの開設」（30件）、「②中新田保育所の建設」（32件）、「④小野田、宮崎の認定こども園の開園」（6件）「③第3子目出生による出産祝い金の支給」（-90件）、「⑤温泉利用券等の配布」の順になりました。

「Ⅱ. 健やかで元気あふれるまち」について

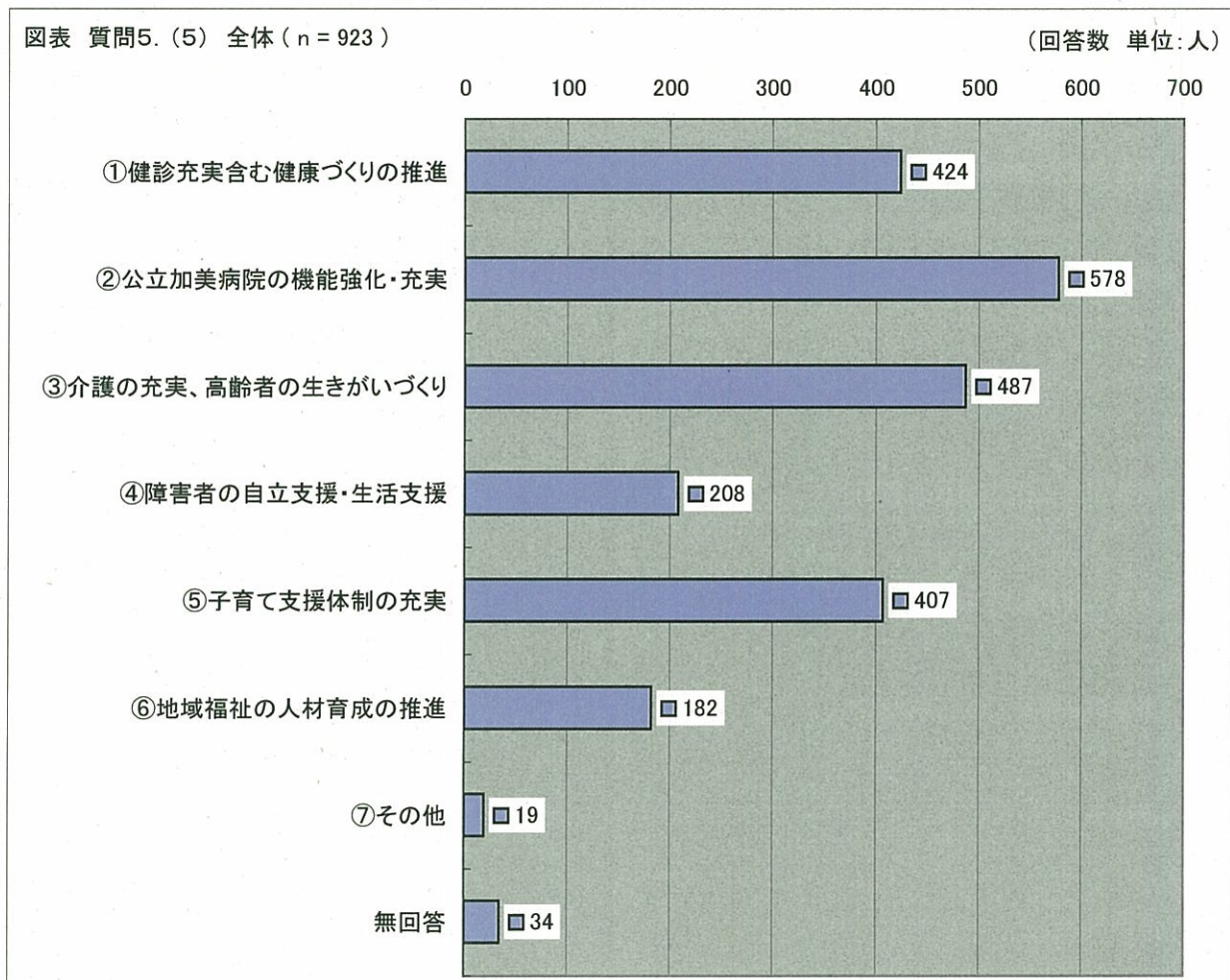
(5) 今後、保健医療福祉の分野で力を入れるべきと思う事業や政策を以下の中から選んでください。(3つまで選択)

全体 (n = 923)

	①健診充実含む健康づくりの推進	②公立加美病院の機能強化・充実	③介護の充実、高齢者の生きがいづくり	④障害者の自立支援・生活支援	⑤子育て支援体制の充実	⑥地域福祉の人材育成の推進	⑦その他	無回答	計
回答数(人)	424	578	487	208	407	182	19	34	2,339
割合	45.9%	62.6%	52.8%	22.5%	44.1%	19.7%	2.1%	3.7%	253.4%

図表 質問5. (5) 全体 (n = 923)

(回答数 単位:人)



集計の結果から、保健医療福祉の分野で、今後、町に力を入れていってほしい事業や政策の順位は、「②公立加美病院の機能強化・充実」（578件）、「③介護の充実、高齢者の生きがいづくり」（487件）、「①健診充実含む健康づくりの推進」（424件）、「⑤子育て支援体制の充実」（407件）、「④障害者の自立支援・生活支援」（208件）、「⑥地域福祉の人材育成の推進」（182）、「⑦その他」（19件）になります。

